

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	識別番号	性別	年齢	日用量	服用薬	副作用	経過	備考	前回公開No.	備考
1	B-02001634	男性	1歳	25mg	アミノフィリン 塩酸ツロブテロール カルボシステイン 塩酸アンブロキソール オキサミド ブランルカスト水和物 エリスロマイシン コハク酸ヒドロコチゾンナトリウム	興奮	回復	気管支炎のため入院、酸素テント収容。朝よりやや興奮傾向あり。インフルエンザ予防のため、夕方から本剤を投与。本剤投与後、一日中声を出して騒ぐ状態であった。本剤服用5日目、投与中止。翌日興奮回復しその翌日退院となる。	異常-1	
2	B-05000689	女性	1歳	39 mg	セフジトレンピボキシル アセトアミノフェン ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン ジアゼパム	激越	軽快	4日前から発熱し、感冒薬を投与するも解熱せず受診。確定検査でインフルエンザAと診断。急性肺炎を危惧し、感染予防薬と共にリン酸オセルタミビルを投与。2回投与後に解熱するが、興奮状態で泣きわめく。翌朝本剤内服後歩行ふらつき状態。午後目覚めてから号泣、異常な興奮状態。ジアゼパム投与し、本剤の投与を中止した。2日後に軽快、睡眠良好。	異常-2	
3	B-05022379	男性	1歳	20mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動 低体温	回復	本剤2回投与後に低体温発現。 その後、異常行動発現（急に走り出して変な姿勢で止まる）し、入院となり経過観察となる。 入院中に異常行動なし。 翌日、低体温回復し、退院。異常行動も回復。	異常-3	
4	B-06025418	女性	2歳	17.5mg	メロペナム三水合物 塩酸ツロブテロール トラネキサム酸 カルボシステイン 酒石酸アリメマジン ヒベンズ酸チベピジン セネガ 耐性乳酸菌製剤(2) 維持液(3)	異常行動 激越	回復 回復	体温41℃。インフルエンザA型治療の為、リン酸オセルタミビル投与開始。服用約30分後、異常行動、興奮状態発現。ベッド柵に頭をガンガンぶつける。翌朝、本剤服用。本剤のんで30分ぐらいから、気嫌が悪くなり、頭をベッド柵にぶつけたりする。以後本剤中止。内服中止してからは同症状認めず。異常行動、興奮回復。体温：37℃	異常-4	
5	B-07010111	男性	2歳	25mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ確定診断を行い、リン酸オセルタミビル処方。夕方より服用開始。寝ていたはずなのに突然起き上がって部屋を走り回った。けがはなかった。服用開始から5日目、異常行動回復。	異常-5	
6	B-08019530	男性	2歳	4 mg/kg		異常行動	軽快	数日前より発熱し、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルを2回服用。 服用2日目、本剤2回服用し、解熱した。異常行動発現。泣きわめいて、走り回る、寝転がる、壁に頭を打ち付ける、気に入らないことがあると頭を壁に打ち付けたり、ぐずりが今までより激しくなったため、本剤投与中止。 本剤服用中止2日目、日中は問題なかったが、真夜中にまたぐずりが激しくなった。 本剤服用中止3日目、気に入らない事があると頭を壁に打ち付けたり、ぐずったりする。 夜泣きが多い、地面に頭を打ち付けるなどの異常行動が続くため、入院。 意識清明で、神経学的その他の身体所見で異常所見は認められなかった。 脳波では異常所見は認められなかった。 本剤服用中止から3日目、退院。 その後、経過、予後は良好であった。		2008/4/1以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	性別	年齢	体重	投与薬	副作用	経過	経過の概要	前回のNo.	備考	
7	B-03003860	女性	3歳	60mg	テオフィリン 塩酸プロカテロール 塩酸プロムヘキシ ン ツブテロール オウヒエキス	失見当識	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビルを投与開始(投与期間不明)。投与後、少しボーッとした感じあり。その日の夜より落ち着きなく動き回る。呼んでも返事なし。焦点も定まらない。検査を行ったところ、テオフィリンの血中濃度がやや高値をしめすもEEG、MRI、髄液検査に異常なし。投与開始8日後、症状回復し退院。	異常-6	
8	B-06001533	男性	3歳	60mg	塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン ヒベンズ酸チベジン	意識変容 状態	回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から3日目に午前中分のリン酸オセルタミビルを服用した約1時間後に意識障害(奇声を発死、頭を壁へぶつけるなど)が発現し、約5時間持続した。その後、意識障害は回復し、再燃しなかった。	異常-7	
9	B-07013311	女性	3歳	45 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。1回目服用約4時間後、急に階段をかけ上がったり、普段置いていない場所に走っておもちゃを探しにいったりといったものはみられない行動あり。 服用2日目、前日同様、熱が高くぐったりしているのに突然動き出すなど、いつもと違う行動が見られた。午前中、体温は38℃台。午後には体温低下。その後症状なし。	異常-8	
10	B-07013419	男性	3歳	60 mg		異常行動	回復	39.6℃の発熱。A型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用30分後、2階で昼寝していたが、いつもの発熱時同様、少し四肢をピクピクとする。服用2時間30分後、2階の大きい窓を開けて上半身を乗り出すようにしていた。母親が注意すると素直に従う。10分程度で異常行動疑いは回復。	異常-9	
11	B-07027596	男性	3歳	25 mg	塩酸プロカテロール カルボシステイン ツブテロール	激越 幻覚	回復 回復	夜、A型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。服用約1時間後、体熱感あり。寝たかと思うとわーっと叫んで「何かがある」と言う。テレビを指差して「あーあー」「まーまー」と訳のわからないことを言いガクガクふるえる。10分位でおさまって入眠。服用約2時間後、ふとんに入っていたのが起きて走り出す。10分程でおさまる。服用6時間後、また騒ぐ。服用2日目、朝、起きてすぐまた「わーっ」と騒ぐ。本剤半量を服用し、(苦味のため半分でやめた)以後、異常行動なし。	異常-10	
12	B-08001381	男性	3歳	33 mg	塩酸シプロヘプタジン ラクトミン	譫妄	回復	インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。発症時体温39℃。リン酸オセルタミビル1回のみ服用。服用3時間後、突然起き上がり机の上へあがる。その後柱に登ろうとした。その後5分程度ボーッとした感じであった。夜間せん妄発現。その後眠っていた。10分後、夜間せん妄回復。		2008/4/1以降 新規報告
13	B-02001480	男性	4歳	75mg	トシル酸トスフロキサシン ザルトプロフェン	妄想 幻覚	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与。投与1時間後(夜間)に幻覚・妄想が出現。その後、回復したが、翌朝の服用(2時間)後に再び幻覚・妄想が出現し、包丁を持ち出す。来院後、投与を中止。症状は回復。併用薬の投与量・時点は不明。	異常-11	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	服薬番号	性別	年齢	一日用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	前回発症No	備考
14	B-05000876	男性	4歳	60mg	アセトアミノフェン	尿失禁	回復	約1ヶ月前、インフルエンザAの診断で、本剤51mg、5日間投与。異常なし。発熱、嘔吐にて来院。流行状況よりインフルエンザと診断し本剤60mg投与開始。 3日目、発熱は継続し、意識もうろう状態で意味不明言葉を発し、泣き、尿失禁する。10分後に落ち着く。 4日目、朝から本剤の服用を中止していたが、夜、睡眠中に突然起き上がり、壁をガンガン叩く等の興奮状態。10～15分で再入眠。1時間ごとに4～5回繰り返した。 翌日回復。	異常-12	
15	B-06024911	男性	4歳	60 mg	アセトアミノフェン	激越	軽快	夕方より、インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。夜、体温38.5℃。異常な興奮がみられ、不眠となった。 服用2日目、夜、体温：37.5℃。異常な興奮状態の程度が強くなった。服用3日目、夕方、興奮状態3～40分経過後に続いて、大声で奇声を発し、おびえたように走り回り、大人二人でかろうじておさえるという異常な行動が深夜まで続した。服用4日目、本剤服用中止。	異常-13	
16	B-07000057	男性	4歳	30 mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸プロムヘキシ セフロキサジン 耐性乳酸菌製剤(2)	異常行動	回復	インフルエンザA型のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用30分後、異常行動(公道を走っており、家につれて帰った後は2階のベランダから身を乗り出そうとした)発現。聞くと「下を見てたの」との事。服用は1回で中止。翌日、異常行動回復。	異常-14	
17	B-07000106	男性	4歳	不明	カルボシステイン	激越	回復	午前中から39～40℃台の発熱があり、インフルエンザ抗原検査でA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。服用4時間後、大声をあげて、押さえつけていないと動き出そう暴れた様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になかった。	異常-15	
18	B-07000286	男性	4歳	132 mg	臭化水素酸デキストロメトラン d-メレイン酸クロルフェニラミン フマル酸ケトチフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル処方。うわごとを言って、表情もこわばり、走り出すため、親が抱きかかえていた。服用後6～7時間後に症状消失。再度本剤服用後、同症状出現し、繰り返した。 4回目の服用中止。症状全て回復。	異常-16	
19	B-07004784	女性	4歳	60 mg		異常行動	軽快	検査にてインフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル処方。本剤2回目服用後、寝ていて夜中に突然起き上がり、同じ部屋のTVの方へ歩いていった。眼は開けていたがうつろであった。口を動かす、もごもごしていたが、意味は不明であった。 服用2日目、朝、覚醒し、以降、異常なし。本剤服用中止。	異常-17	
20	B-07018038	男性	4歳	不明	オキサミド d-メレイン酸クロルフェニラミン dl-塩酸メチルエフェドリン 塩酸プロムヘキシ 塩化リゾチーム ソロブテロール	異常行動	回復	2年前、体温：39℃にて、受診し、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、夕方には解熱。この間、大声で叫ぶという異常行動を起こしている。 本年、体温：40.1℃。本剤服用開始2回目、深夜、体温：37.9℃。目を開いたまま、立ったり、すわったり、走ったりが、10～15分続いた。その後、意識がはっきりしてもこのことは覚えていない。	異常-18	
21	B-07025219	女性	4歳	不明		異常行動	軽快	リン酸オセルタミビル処方。服用1日目から服用3日目まで、夜間にうろうろしていた。異常行動発現。	異常-19	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	薬剤名	性別	年齢	用量	成分	副作用	経過	経過の概要	前回の経過	備考
22	B-08001240	男性	4歳	69 mg		幻覚 異常行動	回復 回復	発熱あり。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用。 服用2日目、朝、体温38.5℃から体温36.3℃に。 服用3日目、朝、本剤服用30分後、「物が2つに見える」、「キヤーキヤー大きな 声をあげて走り回る」といった幻覚、異常行動が発現。体温36.7℃。		2008/4/1以降 新規報告
23	B-08002520	男性	4歳	36 mg	塩酸シプロヘプタジン フマル酸ケトフェン イブプロフェン	異常行動	回復 回復	前シーズンにリン酸オセルタミビル服用し、副作用なし。インフルエンザ予防 接種2回接種していた。 発熱し、休日急患センター受診したところ、インフルエンザA型と診断され、リン 酸オセルタミビル服用開始。 服用3日目、朝夕本剤服用。就寝1時間半後に目覚めて、ギョギョア、「イ ヤダイヤダ」と叫び、どうしようもない様に人を蹴る。泣き疲れて眠るといった 異常行動が発現。深夜、再び急に起き上がった窓際の台に上るといった異常 行動発現したため、本剤の投与中止。 以後同様の行動なし。その後インフルエンザA型回復。		2008/4/1以降 新規報告
24	B-08028418	女性	4歳	102 mg	硫酸サルブタモール カルボシステイン 塩酸アンブロキソール	異常行動	回復	インフルエンザA型発症し、インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル、 吸入β2刺激薬、去痰薬等投与。 突然走り出す、おびえる、わめく、手を振り回す等無意味な動作、寝られない （寝れない）といった異常行動発現。突然走りまわり、おびえたり、わめいたり した。手をふりまわす様な意味のない行動をくり返した。		2008/4/1以降 新規報告
25	B-08031694	男性	4歳	36 mg	塩酸アンブロキソール	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のためリン酸オセルタミビル服用。服用後寝込む。 異常行動発現。午後起床し、椅子に座り、水を飲んだり、父親と話した後、突 然室内を走り回る。父の問いかけに我に戻る。その時点では体温38℃。その 後は37℃台維持しかぜ症状残る。		2008/4/1以降 新規報告
26	B-04008530	男性	5歳	78mg	塩酸プロムヘキシジン ヒベンズ酸チペピジン 酒石酸アリメマジン	譫妄	回復	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル78mg/日他を処方。2回服用 後、夜から翌明け方にかけて40℃の高熱が続く。明け方、異常な発言があり、 興奮して家の中を走り回り、譫妄状態に陥った。同日も本剤を服用。同日、 譫妄回復。その後も2日間服用し、母親が投与中止。その後譫妄状態は おきなかった。	異常-21	
27	B-05024964	女性	5歳	30mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸アンブロキソール ツロブテロール	譫妄	回復	A型インフルエンザに対し発症の翌日よりリン酸オセルタミビル服用開始 （38℃）。服用2時間後より譫妄状態（突然起きあがる、目つきがおかしい、異 常な発言、毛布をくわえる等）が8時間ほど続き、朝4時頃就眠。その後6時に 覚醒、意識は清明で発熱（39℃台）はあったが譫妄はその後出現せず。イン フルエンザ発症12日後インフルエンザ軽快。	異常-22	
28	B-05025585	男性	5歳	120mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン	譫妄	軽快	既往歴として、高熱時奇声をあげたことあり。また、前回本剤服用時に、異常 行動発現あり。 発熱あり、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。 昼、本剤服用後、30分ほど混迷状態（奇声、走り回る、ないものがあると 言う）となった。その2時間後、数分同様の状態となった。本剤2回目服用2時間後、 30分ほど混迷状態となり、入院。入院時意識清明、胸腹部所見異常なし、咽 頭発赤なし、髄膜刺激症状なし。本剤服用は中止。入院後はせん妄なし。	異常-23	
29	B-06025200	女性	5歳	69 mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン フマル酸クレマスチン セフテラムピボキシル	異常行動	回復	インフルエンザA型のため、リン酸オセルタミビル投与開始。 朝は嘔吐してしまったため、その日の夜に服用。服用1時間後くらいから異常 行動（わけのわからない行動が続き、一晩中眠れなかった。うつろうつろして いる状態でフンを投げ出したりするなど）が続く。翌日、異常行動回復	異常-24	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	性別	年齢	用量	成分	異常行動	回復	経過	備考	前回の経過
30	B-06025337	女性	5歳	42 mg	dl-塩酸メテルエフェドリン 塩酸アンブロキソール メキタジン	異常行動 痙攣	回復 回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル内服。本剤服用2時間半後、就寝。本剤服用から5時間後、急に起き上がり、嘔吐し、トイレへ駆け込んだ。その後、便座や自分の太ももを必要以上にさすっていた。心配になった両親が救急車を呼び、搬送。その後、就寝。熱も下がり、退院。	異常-25
31	B-07000128	女性	5歳	33 mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チベピジン アセトアミノフェン	異常行動 意識変容 状態	回復 回復	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル処方。同日夜、異常行動（急にかけだし意識消失して眠が上転し転倒）。翌日、トイレに行こうとして眠がうつろになってたおれた。	異常-26
32	B-07003175	男性	5歳	127.8mg	アセトアミノフェン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。本剤1回目服用後、就寝。夕方、本剤2回目服用。布団から急に立ち上がりカニのように歩き回る。カーテンを開けて外を見、痙攣し倒れた。投与開始2日目、一時入院。入院中も本剤継続。投与開始3日目、4日目、「死にたい」との発現あり。投与開始5日目、本剤服用中止。	異常-27
33	B-07013260	女性	5歳	132 mg	ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン トラネキサム酸 アセトアミノフェン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目に、異常行動（走りまわって壁にぶつかる。表情がおかしい）が発現。	異常-28
34	B-07022413	女性	5歳	120mg	ヒベンズ酸チベピジン 硫酸テルブタリン カルボシステイン 塩酸アンブロキソール 塩酸シプロヘプタジン ツロブテロール	痙攣 幻覚 異常行動 幻聴 譫妄	回復 回復 不明 回復 回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル服用。服用2日目早朝、入眠していたが急に起き上がり、走り回る。友達の名前を呼ぶ。母の背中に虫が見えると言いだした。母の背中によじのぼったり、友人の声が聞こえると言った。母に抱かれてガクガク硬直発作(?)を繰り返す。母は認識可能。救急車で病院を受診。受診時、異常行動消失、意識清明。	異常-29
35	B-07025220	男性	5歳	36 mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型にてリン酸オセルタミビル処方。夕食後、本剤服用。一度眠った後、目を覚まし、何かにおびえるように「いやだいやだ」と叫び、洗面台によじ登ろうとする、蛇口をじっと見つめ指で押さえる。こうした行動を繰り返した。異常行動発現。服用から2日目、朝、起床時もやや興奮した様子。異常行動回復。	異常-30
36	B-07025660	女性	5歳	92mg	ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン 塩酸アンブロキソール トラネキサム酸	熱性譫妄	回復	インフルエンザ検査でA型陽性。リン酸オセルタミビル処方。午後より本剤服用開始。服用約1時間後、視線が合わず、1分間程ではあるが、ぐるぐると同じ所をまわる様に走る動作をした。熱せんもう発現。夜間、鼻出血も出現。服用2日目、熱せんもう回復。解熱後の同症状の再現性はなし。けいれん歴なし。服用6日目、本剤服用終了。	異常-31
37	B-00013386	不明	6歳	150mg	なし	易興奮性	軽快	インフルエンザ治療にリン酸オセルタミビル服用開始。母親から医師への連絡では、服用した夜、就寝中に暴れた。患者は薬を飲むのが嫌いで、以前にも他剤で夜中に暴れたことがあった。本剤投与中止し興奮軽快。	異常-32

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	識別番号	性別	年齢	一日用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	前回のNo.	備考
38	B-05021887	男性	6歳	60mg	セフトラムピボキシル ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン 耐性乳酸菌製剤	激越 幻覚	回復	小児科受診時、トミロン、アスピリン、ペリアクテン、ムコダイン、エンテロノールR処方。 夕刻、発熱(39.0℃)のため来院、脱水症状あり。 発症時所見で発熱(38.3℃)、意識障害あり。 本剤服用後、幻覚、興奮状態発現(異常な発言あり、暴れ出す)。 救急車にて来院、すぐにおとなしくなり、けいれんも発現なし。神経学的異常なし。 その後、幻覚、興奮状態発現なしのまま本剤投与終了。	異常-33	
39	B-05023789	女性	6歳	33 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン 塩酸セフトラピボキシル アセトアミノフェン	異常行動 幻覚	回復 回復	高熱のためリン酸オセルタミビル並びにヒベンズ酸チペピジン、塩酸シプロヘプタジン及びカルボシステインを服用数時間後、意味不明な言葉を話して部屋から走って出てくる。異常行動としてはいかにも見られた。次の日に再度リン酸オセルタミビル並びにヒベンズ酸チペピジン、塩酸シプロヘプタジン及びカルボシステインを服用するも、直後に嘔吐する。リン酸オセルタミビルの服用を中止し、6日後に幻覚症状やはいかいかから回復する。	異常-34	
40	B-06000186	男性	6歳	不明	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型発症、本剤5日間内服する。内服中、幻聴が続いている。その約2ヶ月後、発熱を認め、B型インフルエンザの疑いがあることから、リン酸オセルタミビルと抗生物質の服用を開始。39℃代の発熱が見られたことから、アセトアミノフェン坐剤を投与。リン酸オセルタミビルの投与開始日の夜に異常行動(突然起きて異常な発言をし、母親の足跡の間に自分の指を入れたり、制止がきかない程暴れる)が発現し、翌日の朝にかけて異常行動(入眠中突然起きて異常な発言)が見られた。その後、異常行動は見られず、回復した。	異常-35	
41	B-06006859	女性	6歳	35mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン ツロブテロール	せん妄 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(39.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。初回服用開始後、せん妄及び異常行動が発現し、回復した。服用開始から2日目及び3日目もリン酸オセルタミビル服用後にせん妄及び異常行動(落ち着きなく動き回る等)が発現し、回復した。	異常-36	
42	B-06025518	女性	6歳	45 mg	セフトレニピボキシル 耐性乳酸菌製剤(3) トラネキサム酸 ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アムロキソール アセトアミノフェン	意識変容 状態	回復	高熱、倦怠感、関節痛等あり、インフルエンザ陰性だが、リン酸オセルタミビル等を処方。本剤内服3～4時間後、意識障害(独り言)発現。夕方、再び独り言を発し、一人で屋外へ出ようとした。 その後も意識障害は継続。翌朝、意識レベルは回復。熱も36.8℃まで解熱した。3日後、後遺症はなく軽快、退院。	異常-37	
43	B-07000279	男性	6歳	40.5mg	セフジニル アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザのためリン酸オセルタミビルを投与開始。投与後突然起き、走り出し、ドアに激突、顔面打撲(左顔)。異常行動発現。	異常-38	
44	B-07012137	男性	6歳	40mg	臭化水素酸デキストロメトラン 鎮咳配合剤(1) 酒石酸アリメマジン アセトアミノフェン	異常行動	回復	B型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、昼、2階より転落。「助けて」という声に家族が見つかる。外傷は特になし。その後、意識清明。服用6日目、服用継続するも異常はみられず、朝、本剤服用後投与終了。	異常-39	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	個別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回公表No	備考
45	B-07013250	男性	6歳	不明		異常行動	回復	B型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。1回目服用後しばらくしてから大声を出し玄関に向かって走っていったところ母親に制止された。	異常-40	
46	B-07013332	女性	6歳	90 mg		異常行動 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸セルタミビル処方。体温は39.0℃。夕方、服用1時間後に就寝。体温は38℃。服用4時間後、就寝中、突然大声を出し、足をバタバタと動かし、暴れた。母親が、体をさすりながら声をかけると5分後におさまる。しかし、本人は目をさまさず、そのまま睡眠に入った。服用2日目、目覚めは正常であったが、昨夜の事は全く記憶にない。本剤服用4時間30分後、昨夜のように大声をだし、手足を急に動かし、暴れる。声をかけてなだめると昼寝に入る。夕方、本剤服用。その夜は副作用はなかった。	異常-41	
47	B-07013397	男性	6歳	75 mg		譫妄 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。帰宅しすぐ服用。服用後まもなく、うわごとを言う、走り回るといった異常行動が発現。その後、本剤中止。異常行動は回復。	異常-42	
48	B-07013398	男性	6歳	不明		異常行動	回復	発熱(38℃)。インフルエンザA型の診断がつき、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用1時間後、突然、服用した薬剤や飲み物等を全て嘔吐。この間も、ずっと傾眠しているようで、妄想のような意味不明の言動あり。嘔吐直後、痙攣あり。2回目服用3時間後、それまで寝ていたのに突然飛び起き、飛び込むように階段の方へかけていった。家人が追いかけて止めた。その時の状況は本人は覚えていなかった。服用3日目、普通の状態になった。	異常-43	
49	B-07026153	男性	6歳	79.8mg	ヒベンズ酸チベジジン フマル酸クレマスチン 塩酸ツロブテロール 塩酸アンブロキシール	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断に対して、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、夜、39.7℃の高熱があり、突然起き上がり、家の中を走り回った。訳のわからないことを話し、5～10分間続いた。異常行動発現。その後症状回復。服用3日目、昼、受診。体温36.7℃。反応は普通で異常なし。投与中止。	異常-44	
50	B-07022876	不明	6歳	98 mg		異常行動	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。同日、玄関まで突然走っていった。異常行動が発現。	異常以外-89	2008/4/1以降追加報告
51	B-08026307	男性	6歳	48 mg	ヒベンズ酸チベジジン カルボシステイン ラクトミン	異常行動	回復	前日より発熱、頭痛、嘔気あり。インフルエンザA型陽性のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用3時間後、異常行動発現。眠りから急にムサツと起きて部屋をグルグルまわる。2階から1階に降りて、外に出ようとして母が制止し、意識清明となる。その後、回復。		2008/4/1以降新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	症例番号	性別	年齢	体重	投与薬	経過	経過	経過	経過	経過
52	B-08028327	男性	6歳	88 mg		異常行動	回復	頭痛、気分不良で当院受診。インフルエンザと診断。リン酸オセルタミビル計9回服用。 ムカムカ発現。初診後一日中ムカムカしていると訴えあり。 服用3日目、興奮、幻視発現。虹が見えるという幻視。 服用4日目、異常な行動発現。うなされ、恐い夢をみた。走り回ったりした。よくしゃべる。 服用5日目、受診。夜の服用中止。 本剤服用中止から1日目、解熱。元氣に戻る。		2008/4/1以降 新規報告
53	B-08031693	女性	6歳	投与量 不明	アセトアミノフェン 麻黄湯	異常行動	不明	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用。 服用約3時間半後、異常行動発現。急に家の中を走りまわったり、着ている物を脱ぎだした。発熱あり。本剤1回服用まで確認している。その後の服用状況(中止したか否かを含めて)は不明。		2008/4/1以降 新規報告
54	B-05020834	女性	7歳	不明 (4mg/kg/ 日)		幻覚 異常行動	回復 回復	リン酸オセルタミビル4mg/kg/日処方。夕投与1時間後にドアノブを強く回し続ける異常行動、幻覚発生。救急車搬送入院。翌日回復。	異常-45	
55	B-05023592	男性	7歳	100mg	アセトアミノフェン	譫妄 失見当識	回復	頭痛、咳、鼻症状があり、インフルエンザ陰性であったが、本剤処方。 3回服用後、就寝中に突然起き上がり、せん妄、見当識障害発現(異常な発言をしつつ徘徊、急に笑ったり、物を数える)。 その後入院し、輸液経過観察。せん妄以外は意識清明で発熱、感冒症状は呈していた。 翌日、就寝中に見当識障害(意味不明なことを言い笑う)を起こすが、その後せん妄、見当識障害回復	異常-46	
56	B-05023597	男性	7歳	60mg		異常行動	回復	咳嗽、咽頭痛、眼痛、発熱(38.6℃)出現し、その後体温40℃となり、異常な発言をする。頭痛、腹痛も出現。 翌朝、姉に処方されていた本剤を服用(発熱継続)。 夕刻、再度服用その後、異常行動発現奇声を発し怖い目をして呼び出し、勢いよく走り出す。その後、異常行動は回復。	異常-47	
57	B-05023978	男性	7歳	60mg	麻黄湯	異常行動	回復	インフルエンザの診断を受けてリン酸オセルタミビルを服用。約6時間後に急にびくつきして怖がる様子で叫びだして外に走り出そうとしたり、台所に隠れようとする異常行動が発現し、緊急外来にて経過観察。その後、異常行動は回復。	異常-48	
58	B-05025721	男性	7歳	102mg		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始(39.5℃)。初回服用5時間後トイレに起きた時に異常行動(トイレに起き部屋で排尿、階段を昇ったり降りたり、突然笑ったり)発現し、約1時間続いた。その後本剤2回目服用するが異常行動は認められていない。翌朝解熱し本剤服用中止。いつもよりボーっとし寝てばかりいるため、夕方経過観察のため入院。点滴後元氣が出てきてインフルエンザ軽快、異常行動軽快。翌日、全身状態良好にて退院。	異常-49	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	症例番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	同作用	薬剤	経過	副作用	備考
59	B-05025722	男性	7歳	160.2mg	セフジニル 塩酸シプロヘブタジン 解熱剤（不明）	異常行動	軽快	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始（40℃）。併用薬と本剤初回服用1時間後異常行動発現（急に立ち上がりケタケタ笑う、トイレにこもり大きな音をたてる）後、一旦入眠。異常行動発現1時間後、話しかけに無反応、目線があわない等あり。夜中受診し入院となる（39.4℃）。入院時意識清明、異常言動なし。入院翌日以降異常言動なし。脳波、左後頭部に徐脈。MRI左側頭葉に高信号。入院5日後異常言動軽快退院。	異常-50	
60	B-06025421	男性	7歳	51mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	2年前にも本剤服用しているが、問題なし。 インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用2時間半後、異常行動（突然立ち上がり、22階から1階に走って降りてきて部屋の中を走り回ったなど）発現。 入院後、水分補給の目的で点滴実施、ザナミビル水和物を処方したところ、解熱。 翌日、回復退院。	異常-51	
61	B-07002051	男性	7歳	120 mg	クエン酸モサブリド ヒベンズ酸チベピジン 塩酸シプロヘブタジン 塩酸アンブロキソール アセトアミノフェン	異常行動	軽快	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日昼前、服用し、4時間後、ベッド上で暴れ、奇声をあげる。母が抑制し、10分程度で暴れなくなった。同日夕方、再診し、診察上言動やや不安定だが指示には従う。名前、年齢は答えられるが、「どこにきているか」の問いかけには「わからない」と答えるといった軽度の失見当識を認めた。神経学的異常所見を認めず（meningeal signs(-)）。同日夜間、最高40℃まで発熱するもせん妄、異常行動認めず、入眠した。 翌朝、体温37℃台まで解熱。易疲労訴えあるが、その他、異常は認めなかったとのこと。	異常-52	
62	B-07002056	男性	7歳	75 mg		異常行動	回復	38.2℃の発熱。 翌日、リン酸オセルタミビル処方。同日夜、本剤服用。翌深夜（服用6時間後）、起きだし、2階の階段を下りようとし、その際母親を跳ね飛ばし、母親が階段から落ち、骨折。異常行動発現。その後、父親に抱きつき、眠った。 服用開始3日目、熱も下がり、普通に帰った。異常行動回復。	異常-53	
63	B-07002858	男性	7歳	120mg		異常行動	軽快	夕方、リン酸オセルタミビル服用。服用後、嘔吐発現。 深夜、本剤服用。服用後、ばたばた暴れだし、大きな声を上げながら部屋から飛び出す行動といった異常行動発現。 投与開始2日目、朝、服用後、頭痛、異常行動あり。	異常-54	
64	B-07011933	男性	7歳	88 mg	セラペプターゼ カルボシステイン 塩酸プロムヘキシン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用30分後、興奮、大声を出す。夜、本剤2回目服用30分後、興奮、大声を出す。目つきがおかし、動き回る。2階の部屋で階段へ突っ走のを家族が抱きとめて制止。	異常-55	
65	B-07012130	男性	7歳	66mg	ゾニサミド セフジニル アセトアミノフェン トラネキサム酸 カルボシステイン ヒベンズ酸チベピジン ソロブテロール 塩酸シプロヘブタジン	意識消失	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用4日目、昼、外に飛び出しそうになった。興奮状態でバタバタとした。事象発現から2時間後、2、3分間の意識消失発作。夜、2、3分間の意識消失発作。頭痛がしてボーっとした。頭痛は続いた。興奮して眠れない状態になった。	異常-56	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	品名	性別	年齢	体重	服用薬	副作用	経過	経過の概要	前回のNo.	備考
66	B-07013248	女性	7歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用数時間後にベランダの方へ歩き出し、親が、取り押さえ大事に至らず。左右もわからない状態で、訳のわからないことも言っていたとのこと。	異常-57	
67	B-07013301	男性	7歳	88 mg	フマル酸ケトチフェン テオフィリン クロモグリク酸ナトリウム カルボシステイン ヒベンズ酸チベジジン トラネキサム酸 塩酸シロヘプタジン ツロブテロール	異常行動	回復	A型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、睡眠中、ムクッと起きて2階に駆け上がった。姉につれられて泣きながら下りてきて、すぐに寝た。本剤中止。	異常-58	
68	B-07013303	女性	7歳	81 mg	ヒベンズ酸チベジジン 塩酸アンブロキシール 塩酸ツロブテロール	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。本剤服用4時間後、体温は37.6℃、いつもより落ち着きがない感じであった。服用2日目、朝、本剤服用2時間後、布団でテレビを見ていて、すごいスピードで突然1階と2階を何度も昇り降りし、理解できない独り言を喋っていた。ついには、外へ飛び出そうとして、家人が取り押さえ、事なきを得た。この時の記憶は残っていない。事象発現4時間後、症状回復。	異常-59	
69	B-07013309	女性	7歳	80 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。1回目服用1時間後、意識がおかしくなりベランダへでいこうとした。鍵がかかっている本人フラフラしてあけられなかった。同日症状回復。	異常-60	
70	B-07013377	女性	7歳	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、布団で寝ていたが、急に起き上がりベランダに置いてあったテーブルの上に乗ってへらへら笑っていた。	異常-61	
71	B-07013384	男性	7歳	40 mg	フマル酸ケトチフェン トラニラスト プロピオン酸フルチカゾン	幻聴 幻覚 譫妄	回復 回復 回復	インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル服用開始。服用1時間後、精神症状（幻聴）、幻覚、せん妄発現。「こわい」「学校へ行く」等、不可解な発言と、突然立ち上がり、外へ出て行こうとする行動あり。本剤中止。夜、受診時、特に問題をみとめず、解熱剤処用の処方を受け帰宅。服用2日目、再診。夜間も高熱持続し、少しおかしい発言はあったというが、来院時は消失していた。一方、鼻汁、喘鳴をみとめ、ツロブテロール、マレイン酸クロルフェニラミン、チベジジンヒベンズ酸塩を処方。以降受診なし。	異常-62	
72	B-07018715	男性	7歳	120 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	38.3℃の発熱あり。インフルエンザA型と診断。以前、熱性痙攣を起こしたことがある。卵白アトピーが強いいため、インフルエンザの予防接種は不可能。リン酸オセルタミビル処方され、朝、夕に服用。深夜、起き出しトイレに行くのかと母親は思ったが、玄関に向かっていき、その後ベランダに向かって走り出し、外に出ようとした。母親が捕まえたが、放してくれと叫び、蹴るなど暴れた。母親が泣いている姿をみて我に返ったように「どうしたの？」と言ったとのこと。母親がそのとき抱きしめていた感覚では熱はなかった様子。翌日、本剤は服用せず。	異常-63	